

# 2がつの小さな森のニモ園だよ

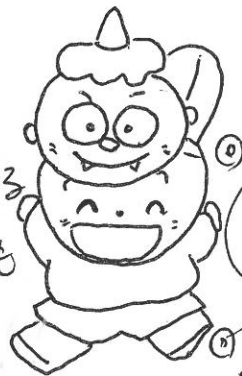
<H.28.1.18>

月日が過ぎるのは、早いもので、もう2月にはいります。  
今年の冬は、暖冬といわれていますが、平年より高かったり、  
平年より低かったりと、気温の変動がはげしく、温度差も  
大きいので、かえって体にこたえますね...

冬終わりの月の2月、寒さがこたえる季節は、おわりを  
おかえる月となり、暖かい春の月が、だんだん近づいてくる  
と思うと、ちよとほっとする感じですが、冬が過ぎるのも  
なんかさびしい気もするね。

今月も、小さな森のニモ園のカリキュラム活動は、  
盛りだくさんです。3月の卒園の時期まで、日にちが  
足らないくらいな思いなんですが、私に家族おなじみの  
子どもと一日一日、味わってすごしたいと思います。

① 何回も聞いています。森は生きている劇は、一般的に  
年長さんがとくおもしろい、けつ、難しいおはなしです。  
うちでは、発表会をしませんから、もともと、この歌をうたえ  
きと、おはなしとうたをしっかりと楽しんでいた子ども達だったので、卒園式  
2部で、やってきています。このおはなしの中におい、みんなど  
たのしみながら、演じるというのを目的としているので、みせ子たちの



劇おえびとは違う方で、とりこんできて、  
今回は、人数が少なく、メンバーの性格や、気持  
がよいに、おもしろ、演じておみせするまでには、難  
しいですが、できるだけ今のところ、やってみようかと  
思っています。

冬の寒い間は、ごはんをたき、暖かいお湯をたべさせてい  
る。その米をはかり、米を洗ってのしこみは、毎日、  
子ども達が、順番でやっています。

七草粥をつくりました。七草を採りに出かけました。  
田んぼがへり、あぜ道をおく機会も、ほとんど  
なくなりました。うちの園の子たちをつれての活動の  
環境もかわってしまったのを改めて、実感した日  
になりました。この日は、また小学校が休校だったので、  
角矢りんちゃん、お友だちのふうちゃん、一緒にあるいての  
活動となり、いつも以上にぎやかにすごしました。小学生たちの  
交流もとてもいいものだったよ。

② どんどや、ささ竹をきてみんなでおはな、わらわ  
は、おは、たきおんおみんなど準備し、組むところから、子どもら  
としました。それぞれがもってきた正月かざりや、近所の方が  
もたらされた、卒園生のれいちゃん(ゆうゆう姉さん)が、うちの  
園のためにもってきてくれた、手作りしめかざりも、い、はに  
おもしろい。もちの他、りんご、里いも、さつまいもを  
今回は、やき、たべました。どんどやの行事でも、いい意  
味の「火おえび」を、たふりし、喜んで、子どもらでした。